

横田ハイスクール 2023年度卒業生 創立50年を祝う YOKOTA HS CLASS OF 2023 HELPS CELEBRATE 50 YEARS OF EDUCATION

June 12, 2023

By Airman 1st Class Samantha White
374th Airlift Wing Public Affairs

5月25日、横田ハイスクールの2023年度卒業生たちは、教育関係者・保護者・家族参列のもと、基地内の太陽コミュニティーセンターで行われた卒業式に臨み、また卒業と共に同校の創立50周年を祝った。

1973年に創立した横田ハイスクールは、モジュール授業を取り入れた“開かれた学校”づくりに取り組み、家族や生徒への支援を拡大するため、校舎の増設やカリキュラムの改訂を行ってきた。

レベッカ・ヴィラゴメス校長は、「50年の歴史の中で同校は変化を遂げてきたが、私たちのミッションは今も変わらない。—そのミッションとは、軍属の生徒への『教育・支援・育成』である」と述べた。

横田ハイスクールでは、半世紀の節目を祝う以外にも、このほど教師謝恩週間を祝い、同校の教育者たちの生徒への献身を労い、50年間にわたる横田コミュニティーへの貢献をたたえた。

ヴィラゴメス校長は、「私たちは、祝すために精一杯のことをしたい」と述べ「私たちは、多くのコミュニティーから支えられ、生徒の行く手を成功に導くという共通の目標を持っている」とコメントした。

この日の卒業式で、計58名の生徒が学び舎を後にし、その多くが4年制大学への進学、軍への入隊、就職、または他の道を進むことが決まっている。

また校長は「教育においては、テストだけでなく、ハイスクール卒業後の生活に備えられる準備を心がけている」「横田ハイスクール(マスコット:パンサー)の生徒であることは、どんな困難にも立ち向かえる強さを持っているということだ」と語った。

同校では、生徒が自立する準備として、問題を克服する方法を学ぶための課題を提供し、協働的に探究することを奨励することで、生徒主体的な環境を粘り強く築いている。

ジェイソン・グッドウィン副校長は、「この先、どこへ行って何をしても、横田はいつでも君たちの“故郷”だ」と述べ、「パンサーに通った生徒は、生涯パンサーであり続ける」と語った。

